

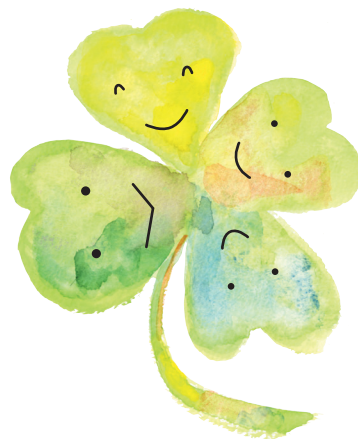
◎子どもたちはこんなことを
考えています。

- ★お父さん／お母さんは、
どんな病気なの？
- ★ぼく／わたしが悪い子だから
病気になったの？
- ★これからどうなるんだろう？



子どもたちは、病気について何も知らされて
いなくても、いつもと違う何かが起こっている
ことを敏感に感じとります。

もしかしたら、ひとりでいろいろと考え事を
しているかもしれません。



お子さんに関するご相談をお受けします。
下記連絡先にお気軽にお問い合わせ下さい。
電話にてご予約をいただくと、お待たせ
せずにお話をうかがうことができます。

対 面 相 談

3 2 . 医療・福祉総合相談窓口の
『がん相談支援センター』にて
専門のスタッフがお話をうかがいます。

電 話 相 談

がん相談支援センター

TEL : 0538-38-5286(直通)
0538-38-5000(代表)

はじめに「がんの相談」とお伝え下さい。
がん相談支援センター担当者に
このリーフレットを見てご連絡
いただいたことをお話し下さい。

がん患者さんの お子さんに関する 支援のご案内



磐田市立総合病院

〒438-8550 静岡県磐田市大久保 512 番地3
Tel 0538-38-5000(代) Fax 0538-38-5050
URL <http://www.hospital.iwata.shizuoka.jp>

子どもたちに
病気についてどう伝えるか
話し合しましょう

子どもたちに伝える時は……

1 今の状態を説明する

子どもたちは学校へ行ったり、遊んでいたりしても、心のどこかで必ずお父さん／お母さんのことを心配しています。

お子さんにわかる言葉で、今何が起きているのかを説明してください。

2 病気は誰のせいでもないことを伝える

お父さん／お母さんの病気は誰のせいでもないことを、お子さんにはっきりと言葉で伝えてください。

3 がんはうつらないことを伝える

子どもたちは、病気について知り始めると、次に「ぼく／わたしも同じようになるのかな?」「近寄っても大丈夫?」と心配します。

「がん」は風邪のようにうつらないことを教えてください。

○子どもたちへうまく話すことができるのかな?

○伝えした後、子どもたちの反応が心配。

どうなるの?



治療中は、ご自身の気持ちの浮き沈みや体調の変化も大きく、なかなか思うようにお子さんにお話しできない事があるかもしれません。

私たちは
患者さん、そして子どもたちを
サポートします

患者さんへのサポート

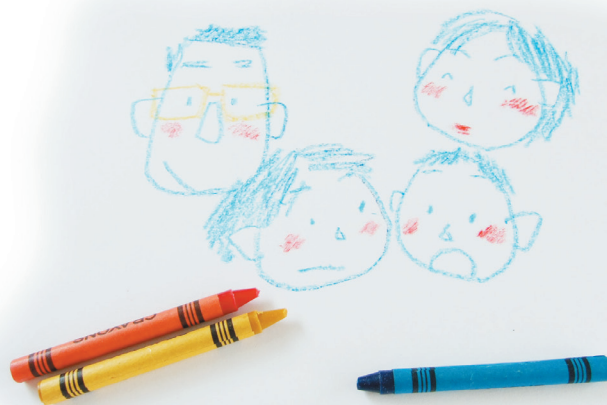
患者さん、またはご家族から、お子さんに関する疑問や気がかり、不安なことなどをお聞きます。一緒にお子さんの対応について考えていきます。



子どもたちへのサポート

私たちが直接、お子さんと話をしたり、遊んだりしながら、お子さんの気持ちに寄り添います。

お子さんがお父さん／お母さんの病気を理解し、受け止めるためのお手伝いをしていきます。



子どもには、大人が思っている以上に理解力や適応力があります。

子どもたちの不安を和らげ、それぞれのご家族らしく生活が出来るようにご支援いたします。

